

全国後期高齢者医療広域連合協議会広域連合長会議 会議要旨

日時：平成21年11月20日（金）16：00～16：32

場所：全国都市会館 3階 第1会議室

1 開会

2 会長挨拶

- ・協議会設立後の経過報告（政権交代・9/30 要望書提出・協議の場への参画）
- ・「高齢者医療制度改革会議」への参画

3 来賓紹介・来賓挨拶

- ・紹介：長浜博行厚生労働副大臣、吉岡てつを高齢者医療課長（随行）
- ・挨拶：長浜厚生労働副大臣
 - 新制度構築へ向け「高齢者医療制度改革会議」を設置、6つの原則を掲げ検討を進める。
 - 現行制度への対応として、現行の保険料等軽減措置の来年度以降の継続が必要。本年度同様、国費での措置を第2次補正で行うよう、財務省と最終調整している。
 - 来年度は保険料改定年。全国平均約14%の保険料増加見込み。
各広域連合の剰余金の全額活用と財政安定化基金の取り崩しで保険料上昇抑制が可能と考えており、関係省庁や各広域連合と調整の上、しっかりと対応していきたい。

4 議事

(1) 要望書（案）について

- ・原案のとおり採択

(2) 要望書手交

- ・横尾会長から長浜厚生労働副大臣へ手渡し

(3) 厚生労働省と意見交換

- ・野村広域連合長（山口県）
本当に高齢者にとって素晴らしい制度となるよう、
 - ① 十分な協議をしながら、自治体の声を聴いていただきたい
 - ② 広域連合というやり方はある意味「無責任」であるため、国・県に一本化してやっていくべき
- ・長浜博行厚生労働副大臣
これまでの制度構築において、地方との話し合いが無かった状況が多いことに驚いている。
就任後、最初の訪問が会長であるという位の強い印象を持っており、後期高齢者医療制度への印象が深いところである。
今後ともご意見を拝聴しながらやらせていただきたい。

5 閉会